

人が変わっても、山口小の職員になったら、授業で必ずすること

【日常の1時間の授業】

- ① めあて、課題、まとめ、ふりかえり を黒板に掲示。
- ② 基本的な授業の流れ（すべての教科）
めあて・課題→一人学び（5分間思考）→協同学習→全体交流→まとめ・振り返り
※算数の授業の基本的な流しは、校長室前の掲示参照
- ③ 「こりゃあ、まあ、うまくいった」と思う授業の板書を自撮り。
- ④ ホワイトボードに1時間の流れを掲示。
- ⑤ 評価規準を設定して、授業に臨む。
- ⑥ 評価規準に達しているか、ノートなどで見取る。（検証問題）
- ⑦ 振り返りをさせ、意識の変容をつかむ。（どこで意識が変わったか）
- ⑧ 必然性のある協同学習を設定。そのための課題設定。（決断をせまる課題、等）
（*ただ、グループ学習をすればいいというのではない。）
- ⑨ 生徒指導の3機能を意識した授業＝主体的、対話的で深い学び（AL）
*自己決定：私はこう考える。
*自己存在感：私の意見、授業に役立ってる。
*共感的人間関係：仲間がしっかり聞いてくれる。 ※見える化ボード参照
- ⑩ 「まず」「次に」「このように」のような言葉を使い、根拠や理由を順序立てて書いたり、言わせたりする。
- ⑪ 単元のまとめ時に「単元振り返りシート」を児童に記入させる。（すべての単元）

【単元ごとに】※まずは、互見授業でやってみましょう。

- ① 単元を通した課題解決型授業の実践（互見授業）
*課題設定→担任がこりゃおもしろいと思う課題でないと児童はついてこない。
*生活の中から課題設定。（教科書の課題はおもしろくないので、児童はついてこない）
- ② 単元の学習評価シートを教師が作成（互見授業）
- ③ 互見授業以外でも、単元を通した課題解決型授業にチャレンジ！
*昨年までの指導案、ワークシートを活用（0から考えなくてよい。追試してみる。）
- ④ 学校図書館（新聞）、ICT、思考ツール、地域人材、を活用する。

【学級経営】（これがベースにないと、ALなんて無理！ 大前提です！）

- ① 間違ってもいいから、まずしゃべってみる。「間違ってもいいんだよ。安心」
*意見が言える学級づくり
- ② 誰かがしゃべっているときはしっかり聞く。「みんなが聞いてくれる。安心」
*聴いてもらえる学級づくり

【将来につながる力】（人間力・総合力）（今後、山口小の中心になっていくのが、これ）

- ① 教科で付いた力を、総合、特活、生活に生かす。（難しい課題に挑戦！）